

目 次

はじめに

観察コース索引

1. 筑紫野市の自然の概要	1
2. 環境指標の森	5
(1) 天拝の森	7
(2) 平等寺彩りの森	9
(3) 宝満川上中流域	11
(4) 筑紫歴史の森	17
(5) 山家宝満宮の森	21
(6) 宮地岳	23
3. 主要な観察コースと特徴・概説	27
■森林観察コース	27
(1) 三郡山	27
(2) 宝満山	31
(3) 大根地山	35
(4) 天拝山	39
(5) 基山	43
■里山田園観察コース	47
(6) 山口	47
■街の自然観察コース	51
(7) 二日市近隣公園	51
(8) 筑紫野市総合公園・天拝湖	53
(9) 武蔵寺	55
(10) 高良神社	57
(11) 荒船神社	59
4. 筑紫野市で観察できる動物・植物	61
(1) 山地編	62
(2) 里地・里山編	65
(3) 市街地編	77
(4) 水辺編	79

5. もっと自然と親しむために	85
(1) 危険な動物・植物	85
(2) 巨樹・巨木のある場所	87
(3) その他の神社	89
(4) 自然環境関連情報提供機関・団体・市民	91
(5) お問い合わせ先	92
編集委員	93

本書の利用にあたっての注意

「2. 環境指標の森」「3. 主要な観察コースと特徴・概説」について

1. 平成24年2月現在の情報を掲載していますので、トイレなど施設の有無やその他にも状況が変わっていることがあります。
2. コースの所要時間は、個人差により記載されている時間と誤差が生じる場合があります。本ガイドでは、1分間に50m(時速約3km/h)歩くことを目安(成人女性がゆっくり歩いた時間)として掲載しています。
3. 地図の凡例の意味は次のとおりです。



上り下りのバス停のおよその位置を示しています。



自動車をとめることのできる場所の位置、右の数字はとめることのできるおよその台数を示しています。



観察コース：案内板や説明板を設置しているところもあります。



参考コース：観察コースからの帰りや、時間にゆとりがあるときに散策をおすすめするコースです。



他のページで紹介している観察コースです。



管理事務所やあずま屋がある場所です。



公園やキャンプ場などの公衆トイレの場所です。

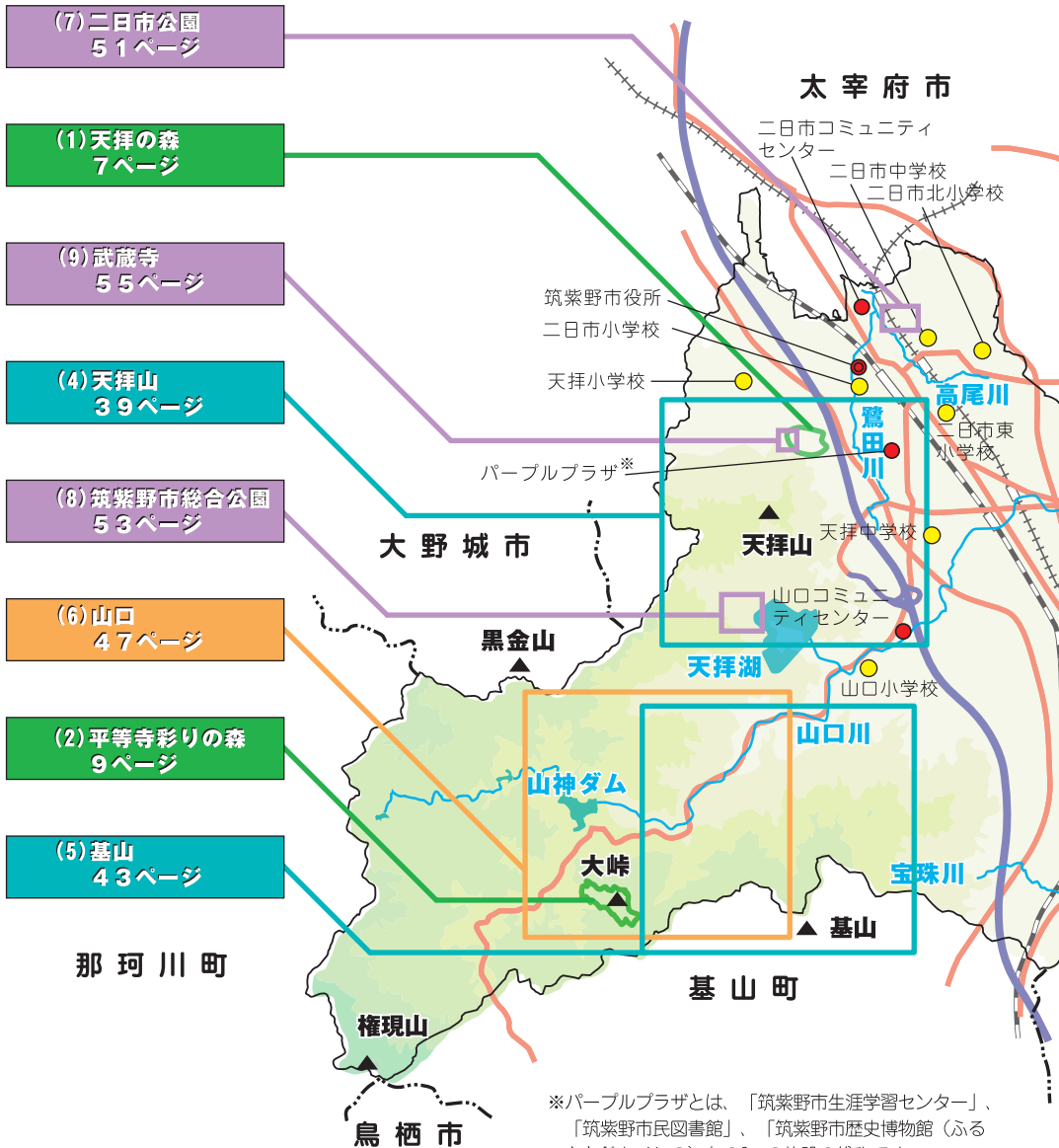
4. バス、鉄道の時刻のお問い合わせ先

西鉄お客さまセンター TEL 0570-00-1010

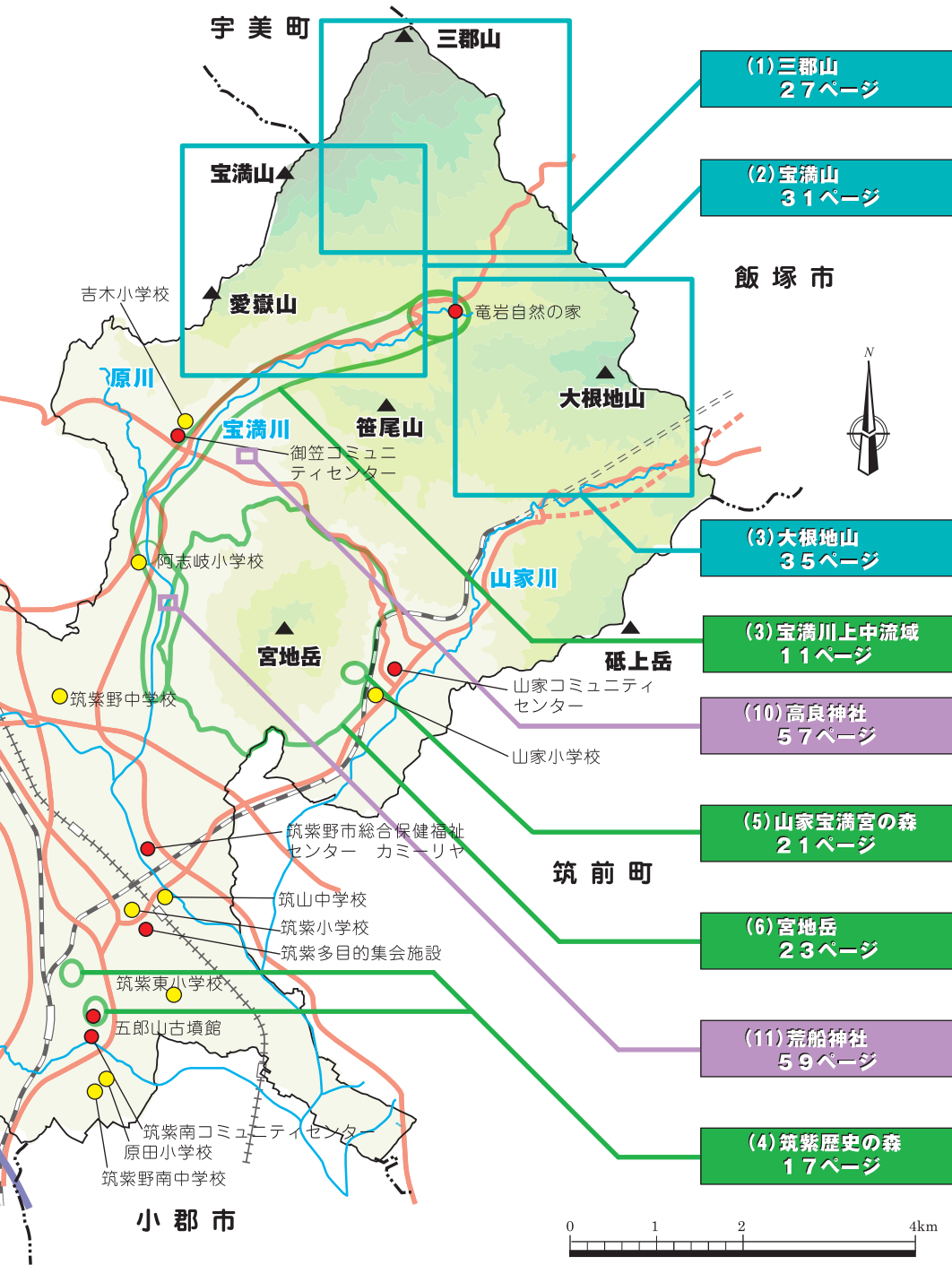
J R九州

TEL 050-3786-1717

観 察 コ ー ス 索 引



※パープルプラザとは、「筑紫野市生涯学習センター」、「筑紫野市民図書館」、「筑紫野市歴史博物館（ふるさと館ちくしの）」の3つの施設の総称です。



2. 環境指標の森

◆環境指標の森とは？

環境指標の森とは、筑紫野市の生物多様性を保全する上で、地域生態系かなたの要となる場所です。筑紫野市の自然環境を構成する代表的な生態系を有する場所のうち、特に人との関わりが深く、定期的な管理を必要とする場所を選定しています。各環境指標の森における代表的な動植物を、継続的に観察しながらデータを蓄積し、自然環境の変化を知るきっかけとして活用する予定です。また、地域の方が環境指標の森の活動を通じて地元への愛着を持ち、より豊かなコミュニティを形成するための契機となることを願っています。平成22年に筑紫野市の環境指標の森として、市内の6地区を選定しました。

環境指標の森に指定された地区では、市民、学識者、コミュニティセンター、学校などによる自然観察に関するさまざまな取り組みが行われています。

環境指標の森と、活動の一端をご紹介します。



森林ボランティアによる植樹活動



環境指標の森位置図

凡	例
環境指標の森	
貯水池	
河川	
市界	
地区界	



水生動物観察会



山家小学校の自然学習

2. 環境指標の森

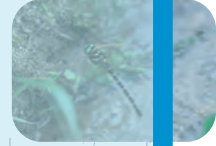
(1) 天拝の森

●天拝の森とは天拝山歴史自然公園周辺を指し、天拝山登山口

●植物の種類も多く、水辺もあるため鳥や昆虫の宝庫です。



アオモンイトトンボ



オニヤンマ

天拝の森一帯で見られる植物

【木本類】 アラカシ、イヌガシ、ネムノキ、ツクシハギ、イロハモミジ
【草本類】 コウゾ、カナムグラ、ウマノアシガタ、イヌタヌキモ、キショウブ ...など

見
本



天拝の森一帯で見られる動物

【哺乳類】 アブラコウモリ、コウベモグラ、タヌキ、ネズミ類
【虫類】 トカゲ、ヒバカリ、マムシ、ヤマカガシ
【生類】 アマガエル、タゴガエル、ツチガエル、ヌマガエル
【殻類】 サワガニ、ヨコエビ
【鳥類】 キイトトンボ、アオモンイトトンボ、ホソミオツネントンボ、オニヤンマ、クロスギンヤンマ、ハラビロトンボ、シオヤトンボ、オオアメンボ、ハンミョウ、コアオハリ、アオスジアゲハ、モンキアゲハ、ツマキチョウ、モンキチョウ、スジグロシロチョウ、クロヒカゲ、フクラスズメ
【魚類】 アサギ、カワセウ、アサギ、コガニ、ハタケシ、ヒコドリ、ウグイス、エビ、ヤマカラ、メジロ、イカル、カラス類
〈夏鳥〉 オオルリ、キビタキ、センダイムシクイ、ツバメ、ホトトギス、ヤブサメ
〈冬鳥〉 アオジ、アトリ、カシラダカ、キクイタダキ、カワウ、シロハラ、クロジ、ハイタカ、ルリビタキ
〈旅鳥〉 コサメビタキ 〈外来鳥〉 コジュケイ、カワラバト、ソウシチョウ ...など

■コースガイド

場所 ◆筑紫野市武蔵に位置し、天拝山観察ルートの麓にあります。

アクセス ◆西鉄バス二日市温泉バス停から徒歩15分。

施設 ◆木造本堂、石の鳥居、石の階段、石の橋、石のベンチなどが植えられています。付近にはシャクナゲ谷もあります。公園には休憩所、駐車場、トイレがあります。

観覧情報 ◆天拝の森周辺では毎月第3日曜日の午前中に日本野鳥の会福岡主催による野鳥観察会が定期的に行われます。

(問い合わせ先 TEL 0974-7112 山本)



ひとこと ◆武蔵寺では4月下旬に「お月見」が、公園では中秋の名月に「お月見会」が開催されます。

■自然観察

植物

春は桜見物、夏は緑陰をもとめての森林浴、秋は紅葉狩りと四季を通して楽しめる手近な公園です。園内にはさまざまな植物が植えられており、また、隣接して「万葉植物園」もあります。万葉植物を中心に多くの植物が植栽され、植物名だけでなく、それに関わる事柄も紹介されています。

◇万葉の植物と歌くヤマアイ>

級照る片足羽川のさ丹塗りの大橋の上を紅の衣裳裾引き山藍もち摺れる娘は着て

(万葉集・1742) 作者不詳

(大意) 片足羽川にかかっている丹塗りの大橋の上を紅色の美しい裾引き山藍染めの着物を着て独り行く娘は ...

動物

池にはコイ、ギンブナ、ヨシノボリ(魚類)がすみ、池の周りではショウジョウトンボやヨツボシトンボ(昆虫類)などが飛んでいます。ウグイスやキビタキ(鳥類)が盛んに鳴く初夏、天拝山登山口にかけて、カミキリやチョウなどさまざまな昆虫たちが目撃されています。また、クヌギの樹液を争うように吸っています。夏の終わりには、フクラスズメの幼虫に葉を食べられて丸坊主になったカラムシを見かけます。フクラスズメの幼虫は危険を感じると体を大きく揺らして威嚇します。ゆっくり歩いて観察してみましょう。

3. 主要な観察コースと特徴・概説

(1) 三郡山



オタカラコウ

頭巾山山頂
(901m)



尾根伝いに頭巾山、仏頂山、宝満山へと歩きます。宝満山を下ると太宰府市の電門神社に出ます。

■観察コース説明：ゆすばる 柚須原バス停 → おおやまづみ 大山祇神社 → 三郡山登山口 → 山道と溪流道の分岐点 → 管理用道路合流点 → 三郡山山頂 → 管理用道路合流点 → 施錠 → 柚須原バス停に戻る周回コース。コース1周に約5時間かかります。

※上りコースは溪流渡りや急斜面の横断、道の崩落など危険箇所が多く、また案内板も少ないため道に迷いやすい難コースです。事故には十分注意しましょう。赤や白のマーカー、詰み石は道に迷わないための目印です。外したりしないようにしましょう。

■参考コース説明：若杉山、砥石山、三郡山、頭巾山、仏頂山、宝満山を尾根伝いに歩く「三郡縦走」のコースの一部です。頭巾山から仏頂山への尾根道は特にすばらしく、気持ちのいい登山が楽しめます。

	バス停
	駐車場(数字は駐車台数)
	観察コース
	参考コース
	休憩所
	トイレ

宝満山山頂

仏頂山山頂
(869m)

電門神社へ

愛媛山へ

(2) 宝満山 (P31~)

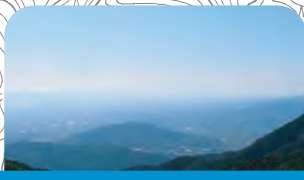


砥石山・若杉山へ

三郡山 三郡山山頂(935.9m)

航空監視レーダー局

管理用道路合流点から三郡山山頂まで約10分



三郡山山頂からは、筑紫野市内が一望できます。大気の澄んだ日には雲仙普賢岳もはっきりと見ることができます。

管理用道路合流点

管理用道路合流点から施錠まで約120分

見

渓流沿いの登山道

段峡

山道と渓流道の分岐点から管理用道路合流点まで約90分



柚須原林道の巨木に登録されているイチヨウの大木は、戦国時代の時期には秋葉山と見なされていました。



観察コース下りは正面に大根地山を見ながら長い舗装道を歩きます。

本

山道と渓流道の分岐点

三郡山登山口から山道と渓流道分岐点まで約30分



柚須原林道

三郡山登山口

施錠

米の峠

飯塚へ

米山峠

登山口から細い林道に入ります。案内板も出ていますので見落とさないように注意しましょう。

柚須原バス停から大山祇神社まで約10分

施錠から柚須原バス停まで約10分

大山祇神社

大山祇神社から三郡山登山口まで約10分

柚須原バス停

吉木へ

- 九州自然歩道の一部も通っている三郡山（936m）は、信仰やレクリエーションの対象として親しまれてきました。

■コースガイド

- アクセス** ◆西鉄バス柚須原バス停下車（日・祝日運休）
- 施設** ◆香園の竜岩自然の家に休憩所、50台程の駐車場、トイレがあります。
- ひとこと** ◆登山ルートは溪流に沿って登るため、雨天時は特に注意が必要です。
◆三郡山から仏頂山、宝満山までの尾根道は太宰府県立自然公園の特別地域に指定されています。
◆下山コースは九州自然歩道でもあり、すばらしい眺望を楽しめます。

■自然観察

地形・地質

三郡山地は、県内有数の山岳景観を演出しています。この地質は、古生代に形成された三郡変成岩類も含んでいますが、大部分は中生代後期に貫入した花崗岩類から構成されています。この山地は相対的に密度が小さい花崗岩のかたまりが緩やかに上昇する過程で作られたものです。

植物

春は柚須原のバス停付近では、オドリコソウのピンクの花や、メキシコマンネングサやキツネノボロンが見られます。大山祇神社（おおやまごみ）では、スギやイチイガシなどの大木の幹を計ってみてください。秋になると七合目カラコウの黄色い花やツクシミカエリソウの薄紫の花が咲いています。ツクシミカエリソウの名前は、あまりに美しいのでもう一度振り返って見たくなることからつきました。また、キバチアキギリやタカクマヒキオコシが観察できます。頂上付近にはコバノミツバツジの群落があります。舗装道路そばではこのほかにも落葉低木のシロモジの小群落が観察できます。



コバノミツバツジ

◇万葉の植物と歌（カガヤク）

いにしへにありけむ人もわが如か三輪の^{かざし}松原に挿頭折りけむ（万葉集・1118）

（大意）私は今、松の枝を折ってかざしにしたけれど、いにしえの人々も私と同じようにかざしにしたことでしょうか

三郡山一帯で見られる植物

【木本類】モミ、アカシデ、ブナ、アカガシ、ミズナラ、シキミ、ウラジロノキ、シラキ、ツルシキミ、チドリノキ、ウリハダカエド、タカノツメ、エゴノキ、タンナサワフタギ、ハイノキ、コツクバネウツギ、ヤブデマリ

【草花類】ヒトリシズカ、ヒメレンゲ、ツツジ、ツリフネソウ、キンリョウソウ、ヤマドリソウ、ミヤマヨメナ、ヒメアザミ、アキノキリンソウ、オトギリソウ、オトギリなど

動物

宝満山から三郡山への尾根道は、小鳥たちのさえずりを楽しめるコースです。初夏にはカッコウの仲間（鳥類）が渡りの途中で鳴くこともあります。水筋には水場も多く、ミソサザイやオオルリ（鳥類）、ノウサギやテン（哺乳類）などを見かけます。テンの糞は細長く、しばしば卵などの種子を含んでいます。チューブ状に押し出したような形です。どんなものを食べているか調べてみてください。



オオルリ

ミドリヒョウモンやミヤマセセリ、オオチャバネセセリ（昆虫類）もすんでいます。柚須原に下りてきたらカガエル（両生類）が涼しげな声で迎えてくれることでしょう。夕方はキクガシラコウモリがねぐらを出て飛びはじめています。

三郡山一帯で見られる動物

【哺乳類】キツネ、ヒメネズミ、テン、アナグマ、【魚類】カワムツ、タカハヤ、ヨシノボリ、ノウサギ、【貝類】カウニナ

【爬虫類】カナヘビ、トカゲ、ヤマカガシ、【甲殻類】サワガニ、ヨコエビ

【両生類】タゴガエル、ツチガエル、イモリ、ヤマアカガエル

【昆虫類】オオオサムシ、ヨツスジハナナガ、キイロトラカミキリ、アオバセセリ、ミヤマセセリ、オオチャバネセセリ、サギマダラ、ミドリヒョウモン、イチモンジチョウ

【鳥類】

〈留鳥〉アオゲラ、イワツバメ、キセキレイ、ミソサザイ、ウグイス、イカル
 〈渡鳥〉カッコウの仲間（カッコウ、ホトトギスなど）、ツバメ、ヤブサメ、キビタキ、オオルリ
 〈外來鳥〉ルリビタキ、ジョウビタキ、キクイタダキ、カシラダカ、アオジ、クロジ、アトリ、コサメビタキ、ガビチョウ、ソウシチョウ、オオムシクシなど

歴史

◆柚須原

筑紫野市の最も北にある集落です。村の入り口には、大山祇神社の鳥居があります。この辺りはいにしへの太宰府官道で、万葉の歌人たちがここを通過して帰りました。

大和辺に君が立つ日の近付けば野に立つ鹿もとよみてそ鳴く（万葉集・570）

だざいのだいてん あさだのむらじやす
 大宰大典 麻田連陽春

（大意）大和へ君（大伴旅人）がお発ちになる日が近くなりましたので、野原の鹿も別れを惜しんで大きな声で鳴いております（蘆城駅家）

4. 筑紫野市で観察できる動物・植物

本書では、みなさんの自然観察をより充実したものとするために、環境ごとに代表的な動植物の紹介をしています。

利用の際の留意点

●環境区分

本市の環境を「山地」、「里地・里山」、「市街地」、「水辺」の4つのタイプに区分して紹介しています。

「山地」

ブナやモミの林のある宝満山、三郡山の頂上付近、大根地山などの自然性の高い樹林の分布する地域（標高600m以上）。

「里地・里山」

平地から丘陵地、低山地にあたる地域。水田、畑地等の耕作地や、かつて採草地や薪炭林として使われていた二次林などが分布する地域（標高100m～600m）。

「市街地」

市の中央部の低平地に位置する工場、住宅団地、道路よりなる地域。

「水辺」

宝満川、山口川、山家川などの河川や溜池、湿地周辺。

●鳥類の渡り区分とサイズ

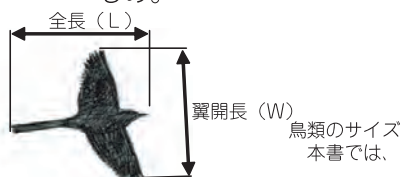
鳥類のなかまには長い距離を季節ごとに移動するものや周年同じ地域で生活するものなど、さまざまな生活パターンを持つものがあります。このパターンを渡り区分といい、これを知るとは、野鳥に出会えるチャンスを高めてくれます。

「留鳥」：年中この地域の生息し、子育て・越冬するもの。

「夏鳥」：春に南方より渡ってきて子育てをし、秋にまた南方へ渡るもの。

「冬鳥」：秋に北方より渡ってきて、冬をすごし、春にまた北方へ渡るもの。

「旅鳥」：春と秋に北の繁殖地と南の越冬地の間で、渡り途中に姿を見せるもの。



●希少種

「希少種」

福岡県の希少種野生生物より引用

－植物、哺乳類、鳥類 2011年版

－爬虫類、両生類、昆虫、魚類、貝類 2001年版

(1) 山地編

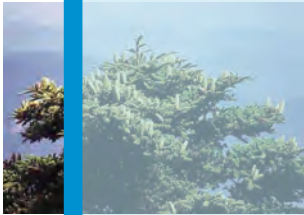
1) 植物



イワヘゴ【オシダ科】
林内や沢沿いで見られる。天拝山などで観察できる。



ミツデウラボシ【ウラボシ科】
岩の上や崖などに生え、天拝山などで観察できる。



モミ【マツ科】
花期5月
標高の高い場所に生え、宝満山金剛の周辺で観察できる。



アカガシ【ブナ科】
花期5～6月
暖地照葉樹林の代表的樹木。宝満山や大根地山で観察できる。



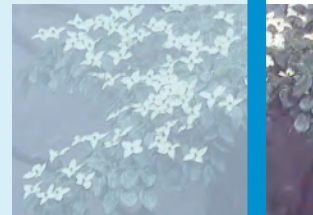
スズシロソウ【アブラムシ科】
花期4月
天拝山や基山などで見られる。山地のやや半日陰に生える。



ユキノシタ【ユキノシタ科】
花期5～6月
湿った半陰に生える。天拝山や大根地山で観察できる。



タヌキマメ【マメ科】
花期9～10月
花のがくがタヌキに似ている原野に生える一年草。



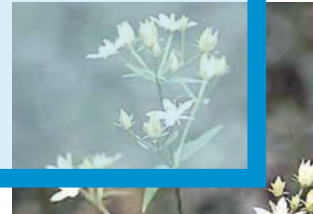
ヤマボウシ【ミズキ科】
花期6～7月
大根地山や宝満山などで観察できる。実は熟すと食べられる。



ベニドウダン【ツツジ科】
花期5～6月
宝満山の尾根道では、白い花も見られる。



オカトラノオ【サクラソウ科】
花期6～7月
天拝山や山神ダムなど日当たりのよい原野に生える。草丈は1m程。

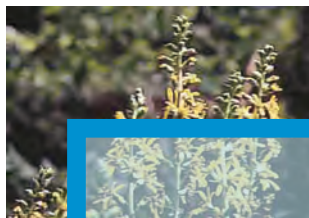


アケボノソウ【リンドウ科】
花期9～10月
野山の水辺や湿地に自生し主に三郡山で観察できる。草丈は、0.8～1m。

見

本

4. 筑紫野市で観察できる動物・植物



オタカラコウ【キク科】
 花期7～10月
 宝満山や三郡山などの渓流沿いの湿地に自生し、高さ1～2mになる。

2) 動物 ① 哺乳類



(福岡県・準絶滅危惧)
ニホンザル【サル目】
 体長46～60cm。天拝湖周辺の竹林で、足跡や糞等が観察できる。



② 鳥類

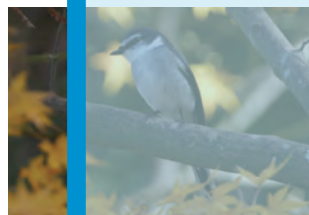
◆ 留鳥



アオバト L 33cm
 よく茂った広葉樹林で繁殖し、主に木の実を食べる。オーアオーと鳴く。



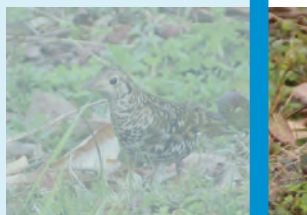
アオゲラ L 29cm
 日本固有種のキツツキ。林にすみ、樹の幹で昆虫を捕る。キョッキョツと鳴く。



リュウキュウサンショウウエイ L 20cm
 林にすみ、昆虫やクモなど食べる。ヒリヒリンと鳴く。



ミソサザイ L 11cm
 湿った山地で繁殖し、冬は山麓に下りてくる。地鳴きはチャッチャツと鳴く。



トラツグミ L 30cm
 日本産ツグミ類では最大。スズや木の実などを食べる。ヒョーと口笛のように鳴く。

(帰化)



ヒガラ L 11cm
 針葉樹林にすみ。昆虫類や種子などを食べる。ツピンツピンと細高く鳴く。



カケス L 33cm
 よく茂った林にすみ、昆虫やドングリ等を食べる。ジェーイと鳴き、他種の声も真似る。



(特定外来生物)

ガビチョウ L 24cm
 中国南部などに分布。飼い鳥が野生化したもの。